

NEC森の人づくり講座 「研修成果報告会 & 森人交流会」報告書

(公社) 日本環境教育フォーラム

- 日 時：2013年6月21日（金）18：30～21：00
- 会 場：NEC 芝倶楽部 201 室（東京都港区芝 5-21-7）
- 参加者：22名（申込者30名、スタッフを除く）

18：40 開会挨拶



主催：日本環境教育フォーラム事務局長
瀬尾より挨拶。



協賛：NEC CSR・社会貢献室
シニアエキスパート 森実様よりご挨拶を
いただいた。

18：50 「19年をふりかえって」



Aコース：森林たくみ塾／オークヴィレッジ代表 佃 正壽 様と Bコース：公益財団法人
キープ協会 環境教育事業部 関根 健吾 様より、各コースの19年をふりかえるスライド
ショーを行った。

18:55 森人座談会

森人座談会メンバー

NEC CSR・環境推進本部 CSR・社会貢献室	池田 俊一 様
A コース：森林たくみ塾／オークヴィレッジ	佃 正壽 様
B コース：公益財団法人キープ協会 環境教育事業部	関根 健吾 様
第12期・Bコース・キープフォレストスターズスクール修了生	志村 昌彦 様
第15期・Aコース・森林たくみ塾／オークヴィレッジ修了生	岩本 淳 様
第20期・Aコース・森林たくみ塾／オークヴィレッジ修了生	清水 冬音 様

<コーディネーター：関根 健吾 様>

本講座修了生3名を交え、講座がどのように影響して今につながっているか等を話し合った。キープ協会関根様の進行でNEC池田様、森林たくみ塾佃様より質問を受け、修了生3名が答える形式で進められた。また、登壇の3名だけでなく、全体へ問いかける様子もあり、活発に意見が交わされた。

Q.講座に参加したきっかけと、惹かれたポイントは何であったか？

A.講座に参加した先輩や友人から勧められた。(岩本、清水)

もともと団体のことを知っていて勧められた。(志村)

同じ環境教育に関心のある学生仲間ができると思った。(清水)

参加費が無料というのは大きい。申し込んでみよう、と決意する後押しになった。(岩本)

Q.参加前に想定していたことと、実際に参加してみてギャップはあったか？

A.予想以上の感動があった。仲間ができることを期待していったが、まさかこれほど仲良くなるとは思っていなかったし、講座の内容としても教わるどころから実践までできたことはとても貴重な機会だった。(清水)

間伐の体験があることは知っていたが、手取り足取り教えてもらえると思っていたらとにかくやってみろ、と何も分からないままやることになって驚いた。やってみて考えて、その後で知識を与えられた。モヤモヤしながらやったことによって、「そうだったのか！」とスポンジのように吸収できた。(岩本)

自分なりの答えを考えさせてくれる時間もあつたし、様々な分野の人たちが「環境教育をやりたい」と集まっていたことがとても新鮮だった。そこで刺激しあえたことが非常に良かった。(志村)

Q.講座が有料だったら申し込んだか？(全体へ挙手)

A.学生でも1万円なら参加した、に挙手が半数。ただし講座に参加した後なら有料でも参

加すると答えた修了生は多数。食事等も含めて1万円だったら破格との意見もあった。

Q.もしこの講座に参加しなかったら今の自分はないと思うか？（全体へ挙手）

A. 挙手した修了生が多数。大学院への進路や、職種の選択に講座の影響があったとの意見もあった。



座談会開始時にアイスブレイクの時間を
はさんだ。



座談会の様子。コーディネーターはキープ
協会・関根様にお願いした。



修了生による自身の活動報告。
講座で得たこと、修了後の活動、その後社会
に出てからどのように今へつながっている
か等、それぞれスライドショーで報告した。
（写真は12期志村さん）



NEC 池田様、森林たくみ塾佃様からの質問
を受け、修了生3名が答える一問一答形式で
進められた。



最後に、「これから講座がどうなったらいいか、どのような要素があるといいと思うか」という問いに対し、グループごとに話し合った。「スカイプで各コースだけでなく各地で活躍するOB・OGともつなぐ」「電子楽器を使って森の音楽会を開く」「海外との交流」「NEC社員の方も一緒に活動してもらおう」等の意見が発表された。

20:00 森人交流会

報告会終了後、交流会をおこなった。



乾杯は4期生・佐藤健さん。



NEC 松下様より、NEC 田んぼ作りプロジェクトの成果「愛酌で笑呼」のご説明。



交流会の様子。



20 : 50 閉会挨拶

最後に、佃様、関根様より第 26 期講座の予定をお話しいただき、閉会した。

21 : 00 閉会

